

夏の猛暑からやっと少し秋らしさを感じられる季節となりました。とはいったものの、日中はまだまだ暑い中、どの学年の児童も運動会の練習に一生懸命に励んでいます。最後まで、この行事をやり抜き、全員が達成感を味わうことができるものにしたいと思っています。保護者の皆様には、ひき続き、児童への励ましや、学校教育活動へのご理解とご支援を、よろしくお願い申し上げます。



「交通・公共のマナー、不審者、帰宅時刻について」

2学期も折り返し地点が見えて来ました。児童たちは、2学期の生活に慣れてきた所ですが、現在、校外生活について、児童たちに気を付けて欲しい事がいくつかあります。ご家庭でもお話して頂けると有難いです。

- ① マナーについて ⇒ 近所や公園での遊び方。交通ルール。(自転車の乗り方等) ※登下校中に道路で追いつけ合いをして、通行中の自転車と接触するなどの事例も聞いています。そして、携帯・スマホ、トラブルの未然防止など、東豊台小の児童たちは、さすがだなと思われるような行動をして欲しく思っています。
- ② 不審者・帰宅時刻について ⇒ 日暮れが早くなりました。安全のために、一旦学校から帰ってから外出する時は、必ず、帰宅時刻を伝える等、各家庭での『約束』について、再度、話し合う場を設けてください。

「6年生 全国学力・学習状況調査の結果について」国・算・理



4月17日(木)、6年生を対象に全国学力・学習状況調査(文部科学省)が実施され、結果が公表されました。結果については、10月10日(金)に6年生各人に返却しました。(同日:大阪府すくすくテストも5・6年生に返却しました。)

なお、この調査結果は、児童の学力や学習状況の一部であり、すべてを表すものではありません。児童や保護者の皆様には結果に一喜一憂することなく、課題をはっきりとさせ、今後どのような力を付けていけばよいのかを知り、学習・生活での励みへの一つの指針として欲しいと考えています。さて、本校の結果分析と課題について、以下、簡潔にではありますが、お知らせいたします。

国語、算数、理科の問題別調査結果では、個人差はあるものの、国語、算数、理科の3教科とも全国及び大阪府の平均正答率を上回っていました。

☆国語では、「話すこと・聞くこと」の区分がよくできていました。文章中の話し合いの中で、登場人物の発言の説明や理由、必要な情報を見つけるなどで力を出せていました。ただし、「言葉の特徴や使い方に関する事項」については、他の区分と比べて正答率が低い問題がありました。漢字を書くでは、「あついで」の書きとり(同音異義語)に課題が見られました。また、文章全体の構成を捉えて要旨を把握する問題3二(2)の正答率が低くなっていました。

☆算数では、全ての領域で、全国・府を上回っていました。中でも数量関係に着目し、知りたい数量の大きさを式や言葉を用いて求める問題では、全国・府の平均を大きく上回るなど力を出せていました。ただ、分数の加法について、共通する単位分数を見だし、加数と被加数が、共通する単位分数のいくつ分かを数や言葉を用いて記述する問題3(2)の正答率が25%程度と課題がみられました。計算方法はよく分かっているのに、どうしてそうなるのか意味を理解していくことも大切にしていきたいです。

☆理科では、全ての領域で、全国・府を上回っていました。問題形式では、短答式の回答の正答率が全国・府の平均を大きく上回っていました。ただ、文章で記述する形での問題(2問ありました)において課題が見られました。中でも種子の発芽の条件について、差異点や共通点をもとに、新たな問題を見だし表現する問題では、正答率が20%程度と低くなっています。発芽の3条件を知った上では、逆に正答を導きにくい問題となっており、こういった問題にも的確に対応できる力が求められていると感じました。また、選択式でも「電気を通すもの」「磁石に引きつけられるもの」の知識、「乾電池のつなぎ方 直列つなぎと並列つなぎ」の問題で正答率が低く、忘れた人はもう一度見直してください。

※児童質問紙の結果につきましては、次回の『東豊台だより』でお知らせすることといたします。

●東豊台フェスティバル & ●いちごフェスタ、●イレブンフェスタ について

- ① 11 / 1 (土) ⇒ いちごフェスタ 会場 第十五中学校
- ② 11 / 8 (土) ⇒ イレブンフェスタ 会場: 第十一中学校
- ③ 11 / 16 (日) ⇒ 東豊台フェスティバル 会場: 東豊台小学校



※③はコドモンにてお知らせ済み。①②は後日コドモン等でお知らせする予定です。ぜひご参加ください。